

令和3年第2回「いわて復興ウォッチャー調査」結果について（概要）

【要旨】

復興推進プランの進行管理の一環として実施する「いわて復興ウォッチャー調査」（令和3年第2回（調査時期：令和3年7月））の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

前回調査（調査時期：令和3年1月）との比較結果は、以下のとおりです。

- ・「被災者の生活」の「回復した」「やや回復した」の合計は85.7%と1.4ポイント増
- ・「地域経済」の「回復した」「やや回復した」の合計は49.6%と6.6ポイント減
- ・「災害に強い安全なまちづくり」の「達成した」「やや達成した」の合計は76.8%と5.7ポイント増

Ⅰ 調査目的等

目的： 東日本大震災津波からの復興状況を定期的に把握するため、被災地域において復興の動きを観察できる立場にある方々の協力を得て、復興感に関する調査を実施するもの。

調査対象： 沿岸12市町村に居住または就労している方、153名（原則毎回同じ方を対象）

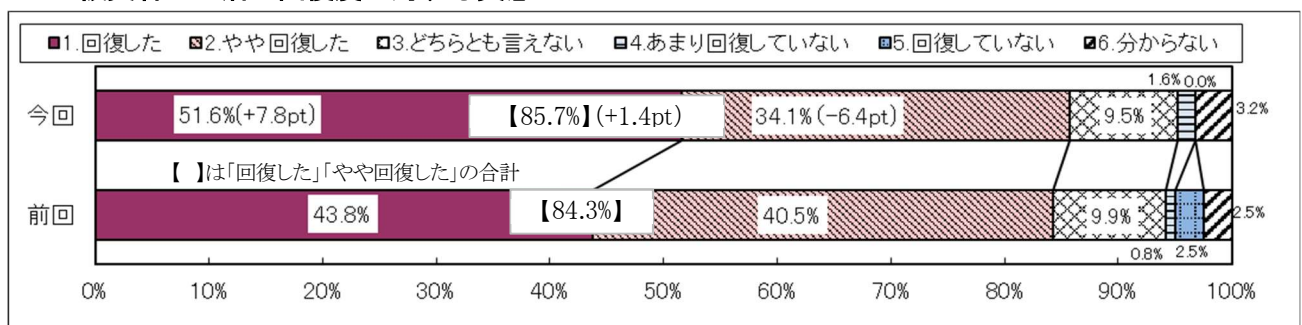
調査時期： 令和3年7月

調査方法： 郵送法（回収率82.4%（126名/153名））

<前回 79.7%（122名/153名）※令和3年1月調査>

Ⅱ 調査結果の概要

1 被災者の生活の回復度に対する実感



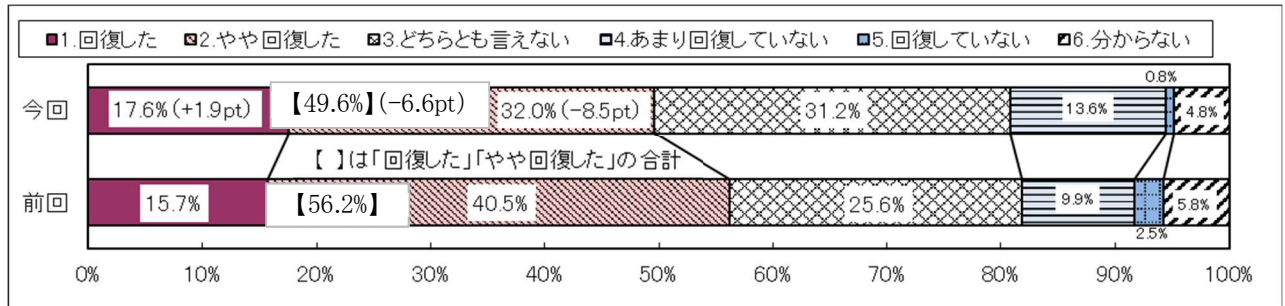
復興道路の延伸や恒久的な住宅への移行など生活基盤の整備が進んでいることを評価する一方で、新たなコミュニティの形成や被災跡地の活用に課題があるとの声や、新型コロナウイルス感染症や不漁の影響による水産業の収入減を指摘する声があった。

主なコメント

- 三陸復興道路が全線開通まであと一歩という状況になったから。
（回復した・進んでいる：50歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸北部）
- 自宅の再建や災害住宅への入居により、住まいは落ち着いた。地域での高齢者のサロン活動等も、活発に行われるようになった。（回復した・進んでいる：40歳代、教育・福祉施設関連、沿岸南部）
- 漁業については、震災前より収入が減少している。アワビ・ウニ・サケ・イカ等すべてが不漁になり、また、コロナの影響で価格が下がり、大幅な収入減となっている。
（やや回復した・やや進んでいる：50歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸北部）
- これで再建は終わりなのかと虫喰い状態の土地の町を見て、今後が不安になる。
（やや回復した・やや進んでいる：39歳以下、地域団体・郵便局関連、沿岸南部）
- 新型コロナウイルスの感染対策として「人と会わない」、「出かけない」状態が1年以上続き、コミュニティ面で大きな影響を受けていると感じる。
（どちらとも言えない：39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部）

裏面へ続きます

2 地域経済の回復度に対する実感

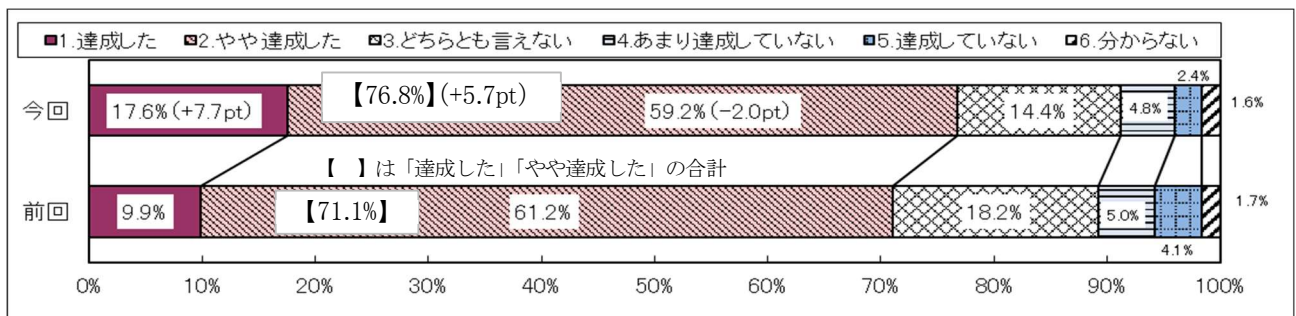


農業や水産業等の生産基盤の整備や中心市街地での店舗・事業所の再建などが進んだとの声がある一方で、水産業の不漁に加え、復興需要の縮小を実感する声があった。また、新型コロナウイルス感染症の影響については、飲食業や観光業をはじめとしたさまざまな業種で打撃を受けているとの声があった。

主なコメント

- 農業は水田等の基盤整備がほぼ完備し、圃場の規格整備、農業機械の導入の支援により、震災前より生産性が高まり、農作物の販売額も安定した。
(回復した・進んだ：60歳以上、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)
- 中心市街地への店舗・事業所の再建は着実に進んでいる。観光施設もオープンしており、交流人口拡大に向けた準備は整いつつある。アフターコロナに向け、各事業者が前進していると感じる。
(やや回復した・やや進んだ：50歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)
- 震災学習・観光など、被災地で取り組んでいた活動が新型コロナの影響で出来なくなり、地域経済にダメージである。(どちらとも言えない：39歳以下、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)
- 復旧工事の完了とともに工事作業員が撤収し、商店の売上が減少している。
(あまり回復していない・あまり進んでいない・50歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)
- 水産業では、記録的な不漁のなかコロナ禍による消費低迷により、業態の悪化に歯止めがかからない。
(回復していない・進んでいない：50歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸北部)

3 災害に強い安全なまちづくりの達成度に対する実感



防潮堤や復興道路などハード面の整備が進んだことを評価する声があるほか、防災意識を高めるための取組や津波以外の災害への備えの必要性を指摘する声が多かった。

主なコメント

- まちづくりの進展、観光施設の完成と並行し避難経路図の掲示、避難訓練も実施されており着実に進んでいる。三陸道の延伸は避難方策の充実に加え、産業・観光面へのプラスが大きい。
(やや達成した・やや進んでいる：50歳代、産業・経済・雇用関連、沿岸南部)
- 私は消防団員も務めており、先日河川水門の運用説明会に参加した。「操作盤の扉を開けただけで各関連機関に異常通報が入る」とのこと、しっかり遠隔管理されているんだと実感できた。
(やや達成した・やや進んでいる：40歳代、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)
- 施設や道路もできたが、だんだん心の中の防災意識が薄れてきている気がする、定期的に防災意識を高める機会が必要だと思う。
(どちらとも言えない：40歳代、地域団体・郵便局関連、沿岸南部)

いわて復興ウォッチャー・動向判断指数（D I）の推移

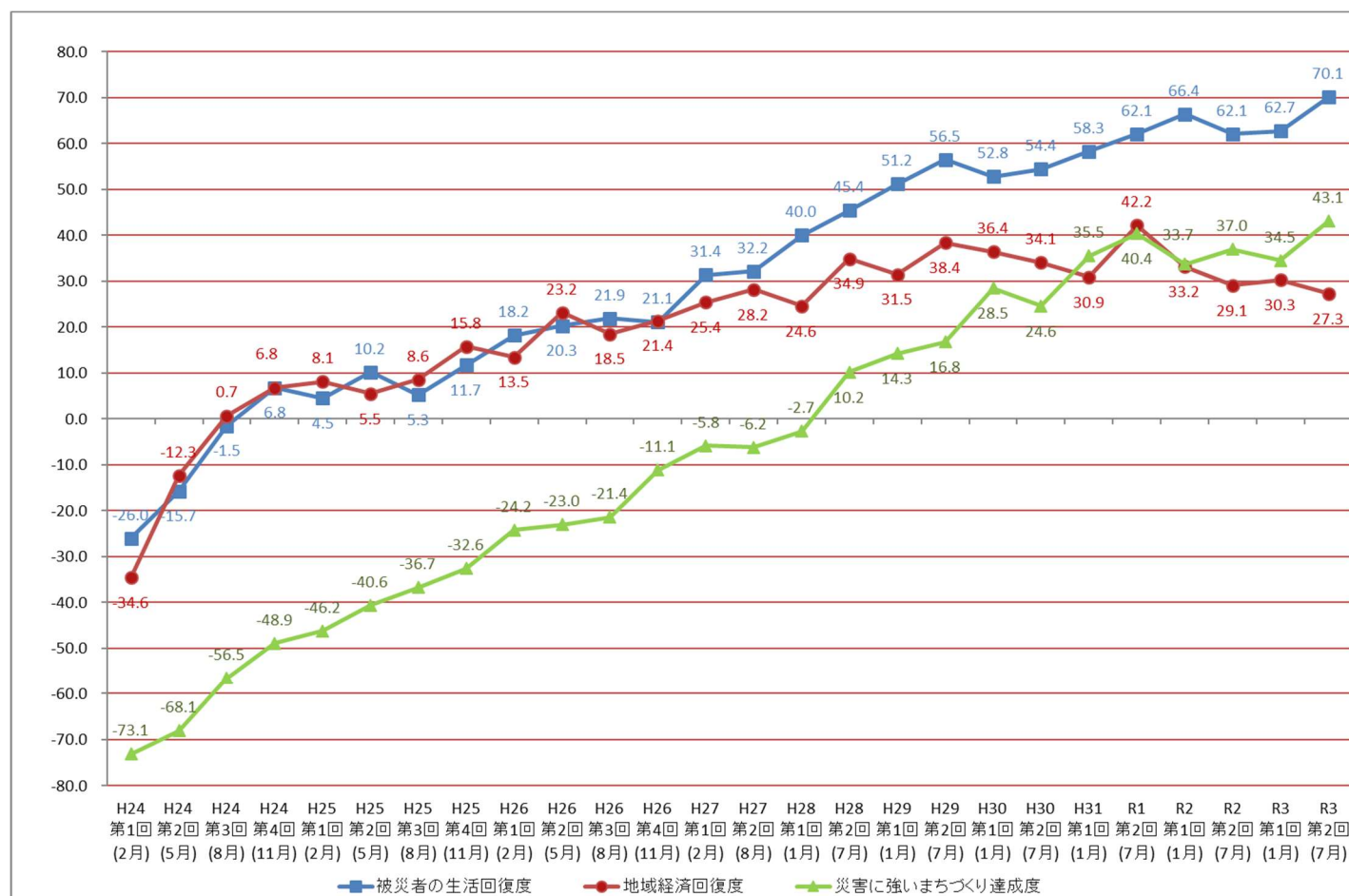
＜動向判断指数（D I）＞

掲載する折れ線グラフは、各回の動向判断指数（D I）について時系列にその推移を表わしたものである。

動向判断指数（D I）は、「回復した」の回答数がA、「やや回復した」の回答数がB、以下「どちらともいえない」がC、「あまり回復していない」がD、「回復していない」がEのとき、次の式で算出する

$$\text{動向判断指数（D I）} = \{(A \times 2 + B) - (D + E \times 2)\} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

（注）上記「回復した」は、設問によって「達成した」「進んでいる」等となる（他の選択肢についても同様）。



※ 平成27年第1回調査までは直近3ヶ月間、平成27年第2回調査以降は直近6ヶ月間（今回は、おおむね令和3年1月～令和3年7月）を指す。